

臨床工学室

《概要》

今年には市立泉佐野病院から地方独立行政法人 りんくう総合医療センターへ生まれ変わった年である。臨床工学技士においても、昨年の10月に「臨床工学技士基本業務指針2010」が公表され、臨床工学技士の業務拡充と明確化がなされた。それに伴い当院の臨床工学室でも、体外式心臓ペースメーカ業務に加えて埋め込み式心臓ペースメーカなどの業務が大幅に増加する事となった。また、心臓カテーテル業務では、清潔領域での業務拡大を進め、より高度な臨床業務を提供するようになった。また、ICUの10床化(2床増設)、7階海側病棟の一部を救命救急病床として運用、3次救急の受入体制の構築、電子カルテの導入と大きなプロジェクトが重なった年であり、それに伴い臨床工学室でも対応に迫られて多忙を極めた。

一方、臨床工学室スタッフは年度初め10名(湧脇栄治、河野栄治、中谷暁洋、岩本匡史、三代千恵、川上遊貴、町田麻実、小谷哲也、大埜将信)でスタートし、途中2名が退職した。1年を通して若手スタッフを育成することに注力しなければならない一年となった。臨床工学技士は、日常業務を覚えるのに3年、十分な業務が出来るようになるには5年、臨床工学技士として独り立ちできるまでに10年を要する。当院では臨床工学技士が病院で行ないえる業務範囲の中で高気圧酸素療法以外は全て実施可能である。しかし全ての分野でスペシャリストであることは非常に難しい。一つの領域で平均的なレベルに達するのに5年、スペシャリストレベルになるには10年を要する。退職した臨床工学技士は、「りんくう魂」を心に秘め新たな病院で活躍のフィールドを広げているようである。

《実績》

心臓血管造影室業務

総症例数	662	症例
経皮的冠動脈形成術	324	症例
緊急症例	185	症例
血管内超音波	301	症例
血管内光断層撮影	37	症例
冠動脈内圧測定	62	症例
右心カテーテル検査	29	症例
薬剤負荷試験	8	症例
電気生理検査	8	症例
経皮的下肢血管形成術	20	症例
心筋生検	6	症例
下大静脈フィルター留置術	6	症例
高速回転式粥腫切除術	30	症例

血液浄化関係業務

血液浄化センター		
血液透析	1,175	件
血液濾過透析	2	件
LDL吸着	3	件
白血球除去療法	0	件
血漿吸着	0	件
顆粒球採取	2	件
血漿交換	10	件
二重濾過分離血漿交換	0	件
腹水濾過濃縮	1	件
ICU/CCU		
持続的血液濾過透析	196	件

血液透析	134 件
持続的血液透析	29 件
血液濾過透析	68 件
血液濾過	0 件
持続的血液濾過	0 件
単純血漿交換	2 件
血液吸着	1 件
エンドトキシン吸着(PMX)	10 件
体外循環関係業務	
人工心肺	56 症例
完全体外循環	42 症例
脳分離体外循環	6 症例
部分体外循環	3 症例
低体温循環停止	5 症例
Off Pump CABG	6 症例
自己血回収術	12 症例
補助循環	
経皮的心肺補助	18 例
大動脈内バルーンパンピング	36 例
不整脈関連業務	
恒久的ペースメーカ埋め込み	36 症例
恒久的ペースメーカ本体交換	8 症例
I C D本体交換	1 症例
ペースメーカフォローアップ業務 (院内業務・外来業務)	640 件
ME機器関連業務	
ME機器修理受付件数	838 件
保守点検件数	245 件
(シリンジポンプ・輸液ポンプ・閉鎖式保育器・人工呼吸器・人工心肺装置・補助循環装置等)	
ME機器貸出総数	貸出用PCが故障し集計不可
シリンジポンプ・輸液ポンプ・その他	
人工呼吸器・麻酔器関係業務	
人工呼吸器	
院内ラウンド回数	51 回
R C T	
患者依頼件数	42 件
人工呼吸器離脱件数	25 件
ラジオ波焼灼治療立会	
総件数	19 件
乳腺腫瘍	16 件
肝臓腫瘍	3 件